

香取市公共下水道事業 業務状況報告書

令和2年度 上期

令和2年4月1日から
令和2年9月30日まで

建設水道部下水道課

この業務報告書は、地方公営企業法第40条の2第1項及び香取市公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例第10条の規定に基づき、令和2年4月1日から令和2年9月30日まで(以下「上期」という。)の業務状況を記載しています。

目 次

- 1 事業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 2 経理の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3

- 3 令和元年度決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

1 事業の概況

(1) 業務

ア 汚水処理水量

上期における年間汚水処理水量は、浄化センター 2 箇所の合計で 2,141 千 m^3 となり、令和元年度と比較し 40 千 m^3 の増となりました。

また、日平均汚水処理水量は 11,701 m^3 となり、令和元年度と比較し 354 m^3 の増となりました。

単位：千 m^3

区分	汚水処理水量		比較増減	増減率(%)
	元年度(上期)	2年度(上期)		
佐原浄化センター	1,628	1,680	52	3.19
小見川浄化センター	473	461	-12	-2.54
合計	2,101	2,141	40	1.90

単位： m^3

区分	日平均汚水処理水量		比較増減	増減率(%)
	元年度(上期)	2年度(上期)		
佐原浄化センター	8,763	9,183	420	4.79
小見川浄化センター	2,584	2,518	-66	-2.55
合計	11,347	11,701	354	3.12

イ 主な建設改良事業の概要

令和元年度から繰越した下川岸地内取付管改良工事(その1)(取付管布設替え 16 箇所)、下川岸地内取付管改良工事(その2)(取付管布設替え 17 箇所)を実施しました。

2 経理の状況

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出(消費税込み)

収入 単位：千円

科目	予算額	執行額	執行率
下水道事業収益	1,634,818	722,358	44.2
営業収益	641,017	454,325	70.9
営業外収益	992,801	268,033	27.0
特別利益	1,000	0	-

収益(収入)は、主に下水道使用料及び雨水処理負担金として一般会計から繰入れるものを計上しており、予算現額に対する執行率は、44.2%となりました。

支出 単位：千円

科目	予算額	執行額	執行率
下水道事業費用	1,632,446	204,375	12.5
営業費用	1,538,676	164,909	10.7
営業外費用	84,948	32,689	38.5
特別損失	7,822	6,777	86.6
予備費	1,000	0	-

費用(支出)は、管渠、ポンプ場、浄化センターに係る修繕費、光熱水費等の維持管理費及び企業債利子償還金等を計上しており、予算現額に対する執行率は、12.5%となりました。

(注) 長期前受金戻入及び減価償却費は、年度末に執行のため上期は計上していません。

イ 資本的収入及び支出(消費税込み)

収入 単位：千円

科目	予算額	執行額	執行率
下水道資本的収入	706,162	94,474	13.4
企業債	452,400	0	-
他会計補助金	92,377	92,377	100.0
国庫補助金	157,265	0	-
負担金及び分担金	4,120	2,097	50.9

収入は、主に企業債、他会計補助金(一般会計からの繰入金)、国庫補助金等を計上しており、予算現額に対する執行額は、13.4%となりました。

支出 単位：千円

科目	予算額	執行額	執行率
下水道資本的支出	1,144,337	377,594	33.0
建設改良費	521,478	67,569	13.0
企業債償還金	622,859	310,025	49.8

費用(支出)は、管渠、ポンプ場、浄化センターに係る建設費及び企業債元金償還金等を計上しており、予算現額に対する執行率は、33.0%となりました。

ウ 事業収入に関する事項(消費税抜き)

収入

単位：千円、%

区分 科目	元年度(上期)		2年度(上期)		比較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	前年比
下水道事業収益			705,604	100.0	705,604	皆増
営業収益			437,572	62.0	437,572	皆増
営業外収益			268,032	38.0	268,032	皆増
特別利益			0	-	0	-

支出

単位：千円、%

区分 科目	元年度(上期)		2年度(上期)		比較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	前年比
下水道事業費用			193,578	100.0	193,578	皆増
営業費用			154,112	79.6	154,112	皆増
営業外費用			32,689	16.9	32,689	皆増
特別損失			6,777	3.5	6,777	皆増
予備費			0	-	0	-

(2) 損益計算書(消費税抜き、令和2年4月1日から令和2年9月30日まで)

単位：千円

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
下水道事業費用	760,054	下水道事業収益	1,068,170
営業費用	720,588	営業収益	437,572
営業外費用	32,689	営業外収益	630,598
特別損失	6,777	特別利益	0
上期純利益	308,116		

(注) *減価償却費(△566,475)及び長期前受金戻入(△362,567)は、年度末に一括して執行するものですが、予算額の二分の一を執行見込額として、営業費用と営業外収益にそれぞれ計上しています。

(3) 貸借対照表(消費税抜き、令和2年9月30日現在)

単位：千円

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	19,921,546	固定負債	6,203,832
流動資産	351,728	流動負債	379,995
		繰延収益	10,448,817
		(負債合計)	17,032,644
		資本金	2,270,135
		剰余金	970,495
		(うち当年度純利益)	(308,116)
		(資本合計)	3,240,630
計	20,273,274		20,273,274

(注) *減価償却費(△566,475)及び長期前受金戻入(△362,567)は、年度末に一括して執行するものですが、予算額の二分の一を執行見込額として、固定資産と繰延収益にそれぞれ計上しています。

3 令和元年度決算

令和元年度下水道事業特別会計の歳入は 1,411,850,671 円、歳出は 1,353,127,814 円となり、歳入歳出差引残額は 58,722,857 円となりました。

令和2年4月1日から、下水道事業について地方公営企業法が適用されたことに伴い、同法の規定による公共下水道事業会計に引き継ぎました。